

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる 自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> 主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。 社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。 	
下位学習目標	
【知識・技能】	
<ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる 自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ol style="list-style-type: none"> 数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている 社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている 社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている 	

授業日	5/15(水)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 7 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】①【学びに向かう力・人間性】①③ 本時の具体的な目標 身近な社会課題に対する多様な主張とその根拠を、論証モデルを用いて整理することができる		
時間 授業内容	0	復習 1 キーワードの相互発表 宿題で調べたキーワードを、班で発表・共有 例：アンコンシャスバイアス 復習 2 前回の内容と問い立てのコツ	
	2 0	WORK 1 「前回作った問いを、規模・狭い広いによって並べ替えよう」 事前準備 ロイロ共有ノートに前回作成した問いと、ピラミッドのシンキングツールを班ごとに用意 ①狭い問いであれば上に、広い問いであれば下に、「問いのカード」を移動する ②発表	
	4 0	WORK 2 「3つの問いを選び、狭い問いは広い問いに、広い問いは狭い問いに書き換えよう」 共有ノートで並び替えた問いを選び、書き換える	
	5 0	講義 三角ロジック ①三角ロジックとは ②理由付けの重要性 ③帰納法と演繹法	
評価方法	課題に対する問いを、狭い問いや広い問いに分類し、自身で改善することができる。		
宿題指示	ミスコン廃止記事の情報を、三角ロジックで整理する。		